# オディス

**について**

写真: miguel valle de figueiredo / Rebobina

O Rapaz dos Pássaros / / 少年と鳥
場所: Auditorio José Afonso, Setúbal

少年と鳥」は「私はストリート・アートをサポートする」ムーブメントにより、2014年の最高の壁画と見なされました。 セトゥーバルのホセ・アフォンソ公会堂の側面に描かれた壁画、「少年と鳥」は1930年代にアメリコ・リベイロによって撮影された写真を模写したものです。 写真の少年はヴィンセンテ・イナシオ・マルティンスは現在90歳を超えていますが、当時はセトゥーバルの通りで裸足で鳥を売っていました。

オディスは1976年にダマイアで生まれ、1980年代の中頃スプレー缶にはじめて手を付けましたが、90年代になると、落書きがポルトガルに広まりだすと、新たに出現したムーブメントにはじめて接触しました。

彼の最初の体験は通りや鉄道線路で、これがスケッチに対して常に示してきた内なる情熱が新しい方向が見いだすものとなってきました。 間もなく、ダマイア、カルカヴェロス、またいくつかの団地で大きな壁画を描くチャンスが訪れました。 彼は早くから遠近法と影に特別な関心を示し、「3Dダーク」として知られるようになるダークスタイルを習得しました。ここでは構図、風景や人物、メッセージや言葉がリアリズムと技術を浮き立たせています。

2005年、彼は直角や壁と地面のコーナーなど、さまざまな面に描いた遠近法的構図で視覚的な錯覚効果を作り出して他をしのぎ、いわゆるアナモルフィック・アートへの革新的進出を国際的に認められました。

**問い合わせ先**

ウェブサイト： http://www.odeith.com/

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com